

教科目名 英語コミュニケーション演習 I (English Communication Exercise I)

専攻名・学年 : 全専攻 1 年 (教育プログラム 第 3 学年 ◎科目)

単位数など : 必修 1 単位 (前期 1 コマ, 授業時間 23.25 時間)

担当教員 : 穴井孝義

授業の概要			
<p>学会発表を英語で行う場合は、あらかじめ「題目」と「アブストラクト」を提出して書類審査を受けるのが一般的である。本授業では、そのための適切な英文アブストラクトが書けるようになるための基礎演習を展開する。</p> <p>アブストラクトの内容は、1 作目はクラスの全学生がアブストラクトの特徴や構成要素を共通に理解できるように一般的なテーマに基づいて選択し、2 作目を自分の専門基礎分野に関係するテーマに基づいて選択することとする。並行して、英文アブストラクトを作成する際に使用頻度の高い Academic English や Written English などに精通することも目指す。また、TOEIC 形式に準拠した Listening 演習を進めると同時に、コミュニケーション力を向上させるための口頭練習も常時展開していく。さらに、重要イディオムや理工系に必要とされる基本英単語の習得にも力を入れる。</p>			
達成目標と評価方法		大分高専目標 (G2), JABEE 目標 (f) (g)	
<p>(1) 英文アブストラクトに登場する Academic English や Written English に精通するようになる。(Writing 課題)</p> <p>(2) 一般的なテーマで 200 語から 250 語程度の英文アブストラクトが書けるようになる。(Writing 課題)</p> <p>(3) Listening 及び Reading 活動を通し、英語で大意が的確に把握できるようになる。(定期試験)</p> <p>(4) 英語の重要イディオムや理工系単語を習得し、自在に使いこなせるようになる。(定期試験と単語小テスト)</p>			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
1	授業オリエンテーション Writing 課題(1)についてのガイダンス	(※)毎回のコミュニケーション活動: (1) ペアワークによる英会話練習 (2) 自分の言いたいことが英語で書けるようになるための Show & Tell 活動 (3) Listening 演習 (4) Reading 演習 (5) 文法・語法演習 (6) 定期的な英単語小テストの実施 (上記(3)~(6)は評価の対象)	【理解の度合い】
2	コミュニケーション活動(※)		
3	同上+小テスト		
4	コミュニケーション活動		
5	同上+小テスト		
6	コミュニケーション活動 Writing 課題(1)のフィードバック Writing 課題(2)のガイダンス		
7	同上+小テスト		
8	コミュニケーション活動		
9	前期中間試験	TOEIC 系応用問題を含む	【試験の点数】 点
10	前期中間試験解説+小テスト		
11	コミュニケーション活動		
12	同上+小テスト		
13	コミュニケーション活動		
14	同上+Writing 課題(2)のフィードバック		
15	前期末試験	TOEIC 系応用問題を含む	【試験の点数】 点
	前期末試験の解説と学習指導		
履修上の注意	(1) 日頃から英語に接する時間を確保して英語センスを養うこと。 (2) 英単語小テストを実施するので、真剣に取り組むこと。 (3) 自動翻訳機を絶対に使用しないこと。 (4) 課題の提出期限を厳守すること。		【総合達成度】
教科書	湯舟英一, Bill Benfield 著, 「Bottom Up Listening for the TOEIC Test」, 成美堂. 亀山太一監修, 「COCET3300」, 成美堂. プリント類.		
参考図書	「技術系英文ライティング教本」, 日本工業英語協会.		
自学上の注意	* 予習時には, 設問に対し自分なりの解答を必ず記しておくこと。 * 復習時には, 必ず英文を音読して英語の音に慣れること。		
関連科目	実用英語 I & II, 資格英語 I & II, 英語コミュニケーション演習 II		
総合評価	達成目標の(1)~(4)について定期試験(2回)+単語小テスト(5回)+課題(2回)で評価。総合評価=定期試験(50%)+小テスト(10%)+Writing 課題(1)&(2)(15% & 25%)。総合評価は 100 点満点で 60 点以上を合格とする。再試験は 1 回のみ実施。		【総合評価】 点